



交流協力共同声明 署名式

g Ceremony of the Joint Declaration on Collaboration
en the Scottish Government and the City of Yokohama

Scottish Government
Riaghaltas na h-Alba
gov.scot

横浜市
City of Yokohama

OPEN YOKOHAMA

横浜市

【横浜市とスコットランド自治政府の間で交流協力共同声明署名式の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 8 月 3 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

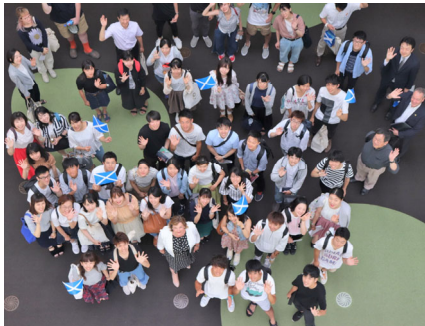
横浜とスコットランド自治政府との交流協力が本格スタート

7月4日、スコットランド自治政府のフィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係大臣が横浜を初訪問しました。林市長とヒスロップ大臣は、日本の自治体とスコットランド自治政府の間では初となる交流協力共同声明を行いました。

主な交流項目は、①文化・観光、②海洋産業、③スポーツ、④大学間交流の4分野。横浜とスコットランドは、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックの好機をとらえ、また、フェスティバルや海洋産業振興などの共通性を活かし、双方の市民・若者の交流や企業同士の連携を深め、スコットランドと横浜の絆を更にゆるぎないものとしていきます。



また、ヒスロップ大臣は横浜市立大学を訪問し、「International Ambition」をテーマに、スコットランドについて講演を行いました。学生からは、Brexit（英国のEU離脱）からスコットランドの豊かな自然景観にいたるまで、幅広い質問が行われました。



ヒスロップ大臣と横浜市立大学生



2019年と2020年、横浜とスコットランドの交流の絆は、より一層深まります

横浜市は、「ラグビーワールドカップ2019™」のスコットランド代表の公認チームキャンプ地に内定しております。また、「東京2020オリンピック・パラリンピック」においてオリンピック英国代表チームの事前キャンプ地に正式決定しています。

大規模スポーツイベントにおけるキャンプは、本番で最高のパフォーマンスを発揮するために、コンディション調整や準備を行うものですが、スポーツを通して開催国の人々と交流することも大きな目的のひとつです。横浜市は、これからスコットランドチーム・英国チームを迎え入れる準備するとともに、市内各所で市民の皆様との交流イベントを展開していきます。

横浜の中のスコットランドを知っていますか？

横浜とスコットランドとの交流は、ちょうど150年前、スコットランド出身の技師リチャード・ブランドン氏が横浜市役所の横にある横浜公園や日本大通りを設計するなど、横浜の発展に大きな功績を残したことに始まり、今日まで続いています。同氏は、日本で多くの灯台を建設し、「日本の灯台の父」と呼ばれています。ブランドン氏の存在なくして、いまの横浜のまちづくりは語れません。横浜公園の中には同氏の胸像があるので、ぜひ探してみてください。



また、山手にある横浜カンントリー&アスレティッククラブ(YC&AC)は1868(明治元)年にスコットランド出身の若者を中心に結成された横浜クリケットクラブ(YCC)を前身とする会員制スポーツクラブです。サッカーやラグビーなど、今の日本で人気の高いスポーツの大半が、このクラブによってその歴史をスタートさせたと言っても過言ではありません。